

JILPT 調査シリーズ

No.15

2006年3月

就業形態の多様化の中での日本人の働き方 - 日本人の働き方調査（第1回） -

The Japan Institute
for
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



就業形態の多様化の中での日本人の働き方
－日本人の働き方調査（第1回）－

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

まえがき

労働政策研究・研修機構では、就業形態の多様化が進む中で、日本人の働き方全般について明らかにすることを目的として、「日本人の働き方調査」を継続的に行うこととし、その第1回を2005年の8月から9月にかけて実施した。本報告書は、この調査結果をとりまとめたものである。

なお、今回の調査では、基本的な調査項目に加え、特別テーマとして「働く人の安心への備えやセーフティネット」を取り上げ、社会保障に関する意識等についても調査した。同特別テーマを中心とする調査結果については、「働き方とセーフティネットに関する研究会」(座長：佐藤博樹東京大学社会科学研究所教授)において詳細な分析を行い、別途とりまとめる予定である。

本調査にご協力いただいた皆様には、この場を借りて御礼申し上げたい。

本報告書を、関係各方面で広く活用していただければ幸いである。

2006年3月

労働政策研究・研修機構
理事長 小野 旭

目次

I	調査の概要、調査結果利用上の注意	3
1	調査の概要	3
(1)	調査の趣旨	3
(2)	調査の対象	3
(3)	調査の方法	4
(4)	調査の実施期間	4
(5)	回答状況	4
(6)	調査実施者	5
2	調査結果の利用上の注意	6
(1)	用語の説明	6
(2)	監査結果	6
II	調査結果の概要	11
1	回答者の基本属性	11
2	ふだん仕事をしている人についての状況	14
(1)	現在の働き方	15
(2)	今後の見込み	22
(3)	仕事に役立つ能力や知識	23
(4)	仕事上の不安や悩み、ストレス	26
(5)	仕事についての満足度	27
3	ふだん仕事をしていない人についての状況	34
(1)	今後の仕事の希望	34
(2)	仕事に役立つ能力や知識	35
4	生活に対するセーフティネット、備え	38
(1)	民間保険等への加入状況、社会保障制度についての理解	38
(2)	現在の生活についてのセーフティネット、備え	40
(3)	これからの生活についてのセーフティネット、備え	45
(4)	生活全般についての考え方	47
III	調査票等	53
IV	統計表	81